様式 1						H28年度
教科名	国語科	科目名	国語表現	単位数	2 単位	対象 3年(全コース)
科目の分類	選択科目		履修順序			
	国語で適切が	いつ効果的に表	現する能力を育り	戊し、伝え	と合う力を高	めるとともに、思考力
■科目の目標 や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上。						て国語の向上や社会生
	活の充実を図る態度を育てる。					
教科書	大修館書店『国語表現』					
主な教材	大修館書店『国語表現 基礎練習ノート』					
1. 原稿用紙の使い方						
学習内容	2. 小論文・	・レポート入門	(材料集め・基準	体的な文章	5構成の仕方	・効果的な文章表現の
(概要)	仕方等)					
		引き方・話し方				
			についての学習。			
1. 「書く」「話す」といった表現することの楽しさを味わう。 学習の 2 小論文やレポートを書く上で必要とされる技術を、「原稿用						
					之、「原稿用組	氏の使い方」という初歩
ポイントのレベルから段階を追って習得していく。						
	3. 作品の完成。					
1. 原稿用紙の使い方がわかる。						
到達目標	2. 日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を身につけ、他者と協働しながら主					
	体的に学習に取り組む。					
3. 面接時の答え方や、人前で発表するためのポイントが分かる。					o	
・定期テストの得点						
評価の方法 ・授業時の発表、ノート・プリント等の提出状況。						
・長期休暇中の課題の提出状況						
・作品の提出状況と完成度。						
学習展開〈年間指導計画の概要〉						
1 7	単元または項		学習のねらい			習活動(教材等)
			いて伝える】		【書いて伝え	_
Ⅰ Ⅰ ― 整つ)	た文を書く	1・わ	かりやすく読みや	ですい、	表記、係り	り受け、文末表現の統┃

£	fé成用、牛肉拍等ileV城安/							
	単元または項目	学習のねらい	主な学習活動(教材等)					
	【書いて伝える】	【書いて伝える】	【書いて伝える】					
-	- 整った文を書く	わかりやすく読みやすい、	・表記、係り受け、文末表現の統					
-	剤 わかりやすい文を書く	整った文章を書く力を身に	一に留意して整った文章を書く。					
ļ	期 文のつなぎ方	つける。						
Ē	前 【小論文・レポート入門】	【小論文・レポート入門】	【小論文・レポート入門】					
3	半 小論文と意見文	小論文やレポートの書き	・小論文やレポートの基本的な書					
	反論を想定して書く	方の基本を学ぶ。	き方に従って、実際に小論文やレ					
	資料を読み取って書く	・情報を収集・分析し、自	ポートを書く。					
	発想を広げて書く	分の考えを深める。	・表現を工夫して、効果的に書く。					
	中間テスト							
1-	「		【点 ¬ ¬¬ ¬¬ \ ¬¬ +++ \					

【自己 PR と面接】

自分を見つめて 効果的な自己 PR 期 将来の自分を考えよう 後 志望動機をまとめよう # 面接にチャレンジ【メディ アを駆使する】 期 通信文を書き分ける 前 電話を使いこなす 半 ネット社会とコミュニケー ション

メディアと情報

表現の扉

【声とコミュニケーション】 言葉のストレッチ体操 リーダーズシアターを開こ

ショートスピーチをしよう

【自己 PR と面接】

- ・自分の過去や現在を見つ め、将来に向けての展望を 持つ。
- 自分の特長を他者に的確 に伝える力を身につける。

【メディアを駆使する】

- ・メディアによる特性・特 徴の違いについて理解する。
- ・相手や目的に応じてメデ ィアを選択し、効果的に表 現する。

【声とコミュニケーション】

- ・内容や表現の仕方を工夫 して話す。
- ・聞くことを通じて表現の 仕方の工夫について理解し、

【自己 PR と面接】

- 経験から得たことや学んだこと、 長所について考えを深め、志望動 機をまとめる。
- ・希望進路先を想定して、模擬面 接を行う。

【メディアを駆使する】

- ・通信文や手紙の書き方のルール を学ぶ。
- ・適切な言葉遣いを用いて電話で の応対をする。
- ・ネットとのつきあい方を理解す

【声とコミュニケーション】

- ・「声を届ける」活動や傾聴のレッ スンに取り組む。
- ・効果的な朗読の仕方を学ぶ。
- 構成を工夫してわかりやすいス

	 中間テスト	自らの表現に役立てる。	ピーチをする。
_	【会話/議論/発表】 相手や場面に応じた会話 議論して結論を出す	【会話/議論/発表】 ・相手の考えを尊重しながら自らの考えを主張し、論拠の妥当性を判断しながら話し合う。 【表現を楽しむ】 ・表現の楽しさを知る。 ・様々な言語文化に触れながら、言語に対する感性を磨く。	【会話/議論/発表】 ・場面や相手に応じた適切な言葉 遣いを考えてロールプレイをする。 ・アピールポイントが伝わるよう に工夫しながらプレゼンテーションを行う。 【表現を楽しむ】 ・折り句やしりとりなど、様々な言葉遊びを行う。 ・詩歌を通して、日本語の魅力を 知る。
三学期			・ポスターやインタビュー記事、 オリジナル国語辞典を作成する。・エッセイを執筆する。